

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名:こもれび通所支援事業所 職員9名 回答率 100 %

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	8	1	0	年齢別にプログラムを行い場所の有効利用している。	ケガや事故が起きないように職員を配置している。
	2	職員の配置数は適切である。	9	0	0	専門の知識を活かした配置と対応しています。	作業療法士、理学療法士、保育士、児童指導員、介護福祉士などの資格者を配置。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	5	2	2	段差等も多いため滑り止めテープ、目印、声かけにて衝突回避に務めている。	職員配置、目印追加等で環境調整していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	9	0	0	衛生、感染対策マニュアルに沿って毎日掃除、定期的消毒を行っています。	窓が多く配置され、明るく、風通しの良い空間と又、広い庭園や遊具と子どもたちに適して空間となっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	9	0	0	職員間で情報を共有しています。会議等で目標設定の見直しや、よりよい支援を考えています。	職員会議やミーティングの参加し情報共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	9	0	0	個別支援計画書に盛り込んだり、業務改善につなげたり、口頭での質問等も即日に対応できるよう務めています。	保護者の意見をプログラムに取り入れたり、モニタリングで対応できるように務めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	9	0	0	評価表は、もちろんのこと口頭での問いなどに即日回答できるよう、その都度改善に務めています。	ホームページに、保護者等向け評価表(アンケート)、および事業所の自己評価表等を公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	4	1	4	各相談事業所の相談員や教員、関係事業所等から評価等を伺っています。	感染症の終息後に検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	9	0	0	オンライン研修に参加	オンライン研修を月に1回以上おこなっている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	9	0	0	年度替わりや環境の変化、お子様の成長・発達に応じたアセスメントを行い、本人や保護者様のニーズを把握し、支援計画を作成しています。	変更時や年に1回以上見直しを行っています。

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	8	1	0	オリジナルアセスメントツール等を使用している。	個人の特性に応じたアセスメントツールも仕様しています。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	9	0	0	相談員からのサービス利用計画を基に本人や保護者様の意志、要望に沿った、長期目標、短期目標を設定し、要望実現のための具体的課題や支援内容、支援期間や優先順位を、分かりやすい文章で表記しています。	相談員とも情報交換しながらガイドラインに沿い、発達支援(本人支援及び移行支援)、家族支援、地域支援をバランス良く、具体的な支援内容を分かりやすく設定していきます。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	9	0	0	児童発達支援計画を基に個別療育、集団療育のプログラムを立案し、個々に合わせた支援を行っています。	保護者、教員、相談員等と連携をはかりながら支援が途切れないよう継続的な対応していきます。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている。	9	0	0	専門スタッフはもちろんの事、スタッフ以外に、関係者とも共通理解したうえでのプログラム立案をおこなっています。	保護者や本人はもちろん、相談員、学校関係者とも共通目的のもと、プログラムの立案をしています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	9	0	0	本人、保護者、スタッフの要望なども聞いて対応し、又本人が飽きないよう変化をつけて対応しています。	楽しいものだけではなく、苦手なものも併せて固定化しないよう工夫しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	8	1	0	保護者や本人と相談の基に集団プログラムや個別プログラムを特性や発達状況を考慮して組み合わせています。	職員は特性の確認や療育方法の確認、本人とは毎日見通し等を立てて意識できるようにさせています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	9	0	0	毎日、短時間職員も踏まえて会議しているため前回の療育の引継ぎと併せて対応できている。	当日開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見通し立てて対応していきます。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	8	1	0	常に子供たちに寄り添いながら事業所に限らず学校や家庭での起きたことも踏まえての気付いた点があれば報告共有している。	毎日、短時間勤務職員も踏まえて会議しているため前回の療育の引継ぎと併せて対応している。サービス開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見通し立てて対応していきます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	9	0	0	正しい記録がとれるように一人一人の状態を観察する事を心がけている。	記録内容が曖昧な内容にならないよう本人の目標、プログラムのねらい、療育に特化した記録を心がけている。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	9	0	0	毎回参加し、利用児の近況などを確認しています。	見直しや継続性の必要性などスタッフとも細かく情報交換しています。
	21	学校や保護者との対応時に身なり、挨拶、コミュニケーションは、良好か。	9	0	0	適切に対応できている。挨拶や身なりなど職員同士で確認している	色々な保護者や先生がいらっしやるので臨機応変に対応できるよう職員同士で確認している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	9	0	0	担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	現状どおり対応していきます。
	23	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	9	0	0	必要に応じて、保育所や幼稚園、地域の専門機関や医療機関との情報共有や相談を行い、適切な支援が行えるように努めています。	相談員や行政職員などと情報共有しながら連携を図っていく。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	9	0	0	先生方や保護者、相談員と連携して情報共有や相互理解を図っている。	事前に先生方と関係者会議などで情報共有している。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	9	0	0	先生方や保護者、相談員と連携して情報共有や相互理解を図っている。	事前に先生方と関係者会議などで情報共有している。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	6	2	1	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	発達検査での結果内容を共有し、療育内容の参考にしている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	6	3	0	小学校や中学校などのイベント参加や公園、児童館や体育館などで交流を図っている。	インターシップや地域中学生の職場体験を通して交流を図っていききたい。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	3	0	6	参加できていない。	感染状況が落ち着き次第連携体制を整えていきたい。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	8	1	0	送迎時に保護者との連絡帳、電話、SNSなどで状況や課題についてお伝えしている。	現状どおり対応していきます。
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	7	1	1	ペアレント・トレーニングは、行っていませんが児童発達責任者はじめ対応力向上に努めています。	保護者や先生対応等などの研修を実施している。	

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	9	0	0	契約時に規定を明確に提示し、利用者負担等についても丁寧な説明を行っています。	毎月事前に自己負担分の確認について紙面に同意を求めています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	9	0	0	本人や保護者様の意志や要望を確認し、長期目標、短期目標、要望実現のための具体的課題や支援内容、支援期間や優先順位を分かりやすく説明した後、同意を得ています。	発達支援、家族支援、地域支援を取り入れ、分かりやすく明確に記載した児童発達支援計画を説明し、同意を得ています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	7	0	2	相談にはその都度対応しています。必要に応じて日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	保護者様の悩み等を改善できるようスタッフの対応力や信頼を増やしていきます。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	9	父母の会の活動はおこなっていませんが、保護者同士の紹介等を行い連携を促しています。	感染症等の動向をみながら、保護者会の開催を予定しています。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	9	0	0	いつでも相談して頂ける関係・環境を作るようにしています。その日の相談や申し入れは管理者などへ報告するようにしている。	相談や申入れがあった場合は、迅速かつ、適切に対応するようにします。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	9	0	0	行事予定は紙面で対応し、活動内容や連絡体制等はホームページやブログ、SNS等で対応しています。	ホームページの整備や保護者様に有益な情報や連絡体制等をSNS等でも対応している。
	37	個人情報の取扱いに十分注意している。	9	0	0	個人情報などはファイリングし、目隠しなどで保管しています。	事務所内の掲示物等個人情報がもれないよう整備していきます。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	8	0	1	よりわかりやすく親切な対応を個々に考え工夫しています。	現状どおり対応していきます。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	5	0	4	地域の行事に参加したり、事業所の行事に招待するようにしている。	コロナ感染の影響により、地域との交流行事等は、令和4年度は、行われていなかったが、令和5年度は少しずつ交流を図ってきたい。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	9	0	0	定期的な会議で緊急時対応、防犯対応、感染症対策の再確認や訓練を実施している。	事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読み頂けるようにしています。定期的に訓練を行い、最新の情報を提供していきます。
41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	9	0	0	年2回以上、訓練を実施しています。想定災害に応じた避難訓練を実施しています。	災害訓練の想定を変更することで職員や児童が対応の方法が学べる。	

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	9	0	0	契約時に既往歴等、お子様の状況を確認しています。服薬やその日の体調等は、利用時に毎回確認するようにしています。	保護者の方からも定期的に確認しているし、相談員との情報共有、アセスメントシート等から健康管理、状況把握を確認している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	8	0	1	今のところ該当児童はいない。契約時にアレルギーの有無やその日の体調等は、利用時に毎回親御さんに確認するようにしています。	相談員や保護者の方との情報共有、アセスメントシート等から健康管理、状況把握を確認している。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	8	0	1	ヒヤリハット事例で全職員の注意喚起をかねている。	全職員共有できるよう定期的に確認していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	虐待マニュアル等で復習と研修等の参加で対応している。	外部での研修を毎年職員を交代して受講させ、全職員で共通理解図っている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	9	0	0	該当者なし。	虐待防止委員会の中での身体拘束化についての研修などを学習している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。